

GPS 首輪による個体移動状況調査について

1. これまでの GPS 首輪の装着状況

平成 17 年度から、人工衛星を利用した測位システム（GPS 首輪）を導入し、行動圏把握を行っている。平成 17 年度に東大台で 4 個体、平成 19 年度に西大台で 3 個体、平成 20 年度に西大台で 4 個体に装着した。平成 21 年度は、現在までに東大台、西大台で各 1 個体に装着済みである（表 1）。年度内に、さらに 4 個体の装着を行う予定である。

表 1 大台ヶ原におけるニホンジカへの GPS 首輪の装着状況

年度	個体 ID	地域	装着日	装着状況 (装着日数)	データ 回収状況	備考
平成 17 年度	584	東大台	7 月 24 日	脱落済み (325 日)	平成 18 年 6 月 14 日 回収済み	
	585	東大台	7 月 21 日	脱落済み (322 日)	平成 18 年 6 月 14 日 回収済み	
	586	東大台	7 月 21 日	脱落済み (322 日)	平成 18 年 6 月 14 日 回収済み	
	587	東大台	6 月 23 日	脱落済み (427 日)	平成 18 年 8 月 24 日 回収済み	
平成 19 年度	1569	西大台	11 月 17 日	脱落済み (508 日)	平成 21 年 4 月 8 日 回収済み	
	1570	西大台	11 月 18 日	脱落済み (382 日)	平成 20 年 12 月 4 日 回収済み	死亡
	5872	西大台	12 月 2 日	装着中	未回収	ロス ト
平成 20 年度	5852	西大台	8 月 11 日	装着中	平成 21 年 9 月 27 日 一部回収済み	
	5862	西大台	8 月 12 日	装着中	平成 21 年 10 月 18 日 一部回収済み	
	5842	西大台	10 月 1 日	脱落済み	放獣後すぐに脱落 データなし	
	1758	西大台	10 月 2 日	装着中	平成 21 年 10 月 18 日 一部回収済み	
平成 21 年度	1795	東大台	6 月 24 日	装着中	平成 21 年 10 月 19 日 一部回収済み	
	1792	西大台	9 月 20 日	装着中	未回収	

※個体はすべて成獣メス

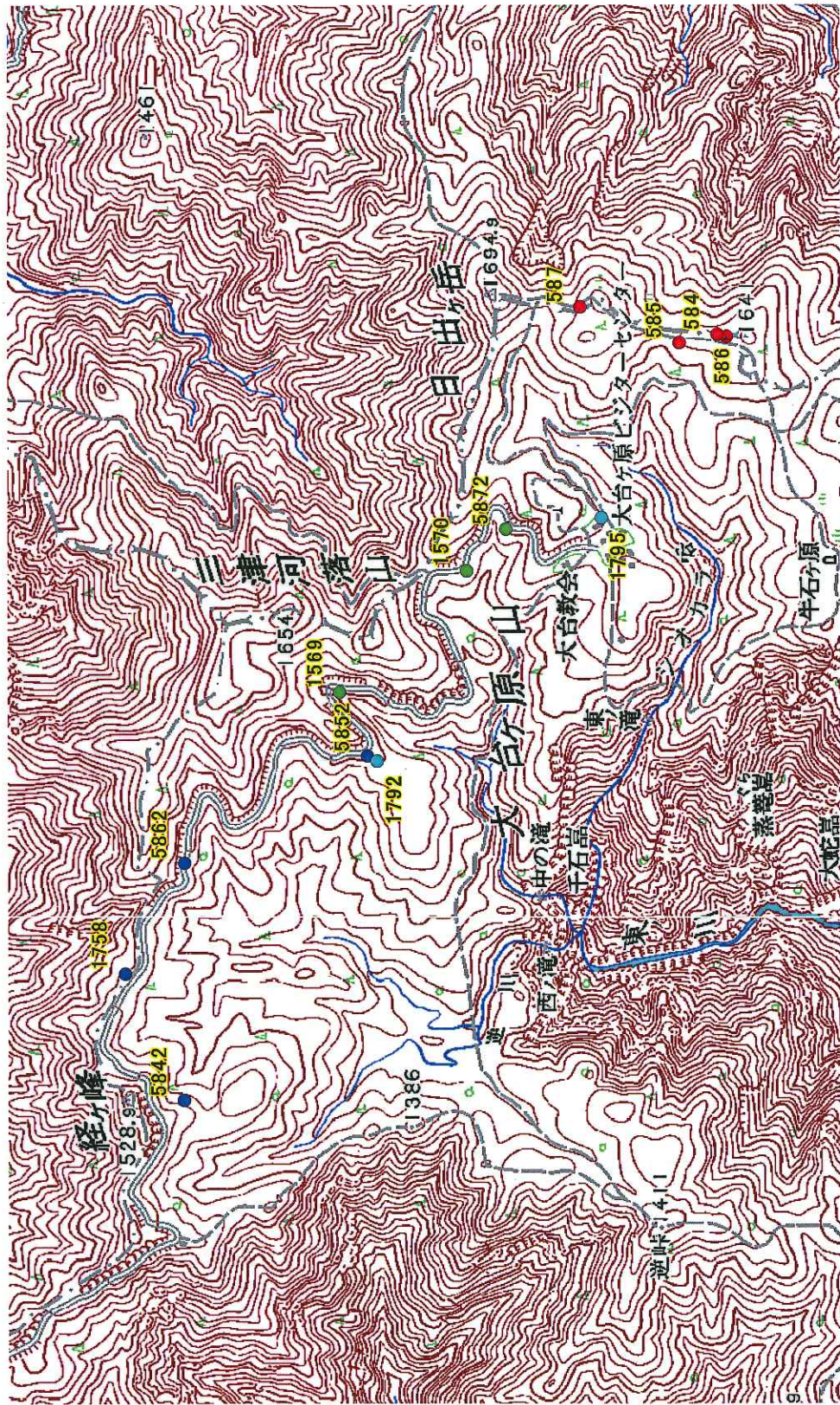


図 1 GPS 首輪個体捕獲位置 (● : 平成 17 年度捕獲、● : 平成 19 年度捕獲、● : 平成 20 年度捕獲、● : 平成 21 年度捕獲)
 注) その場放獣のため放獣位置は同上

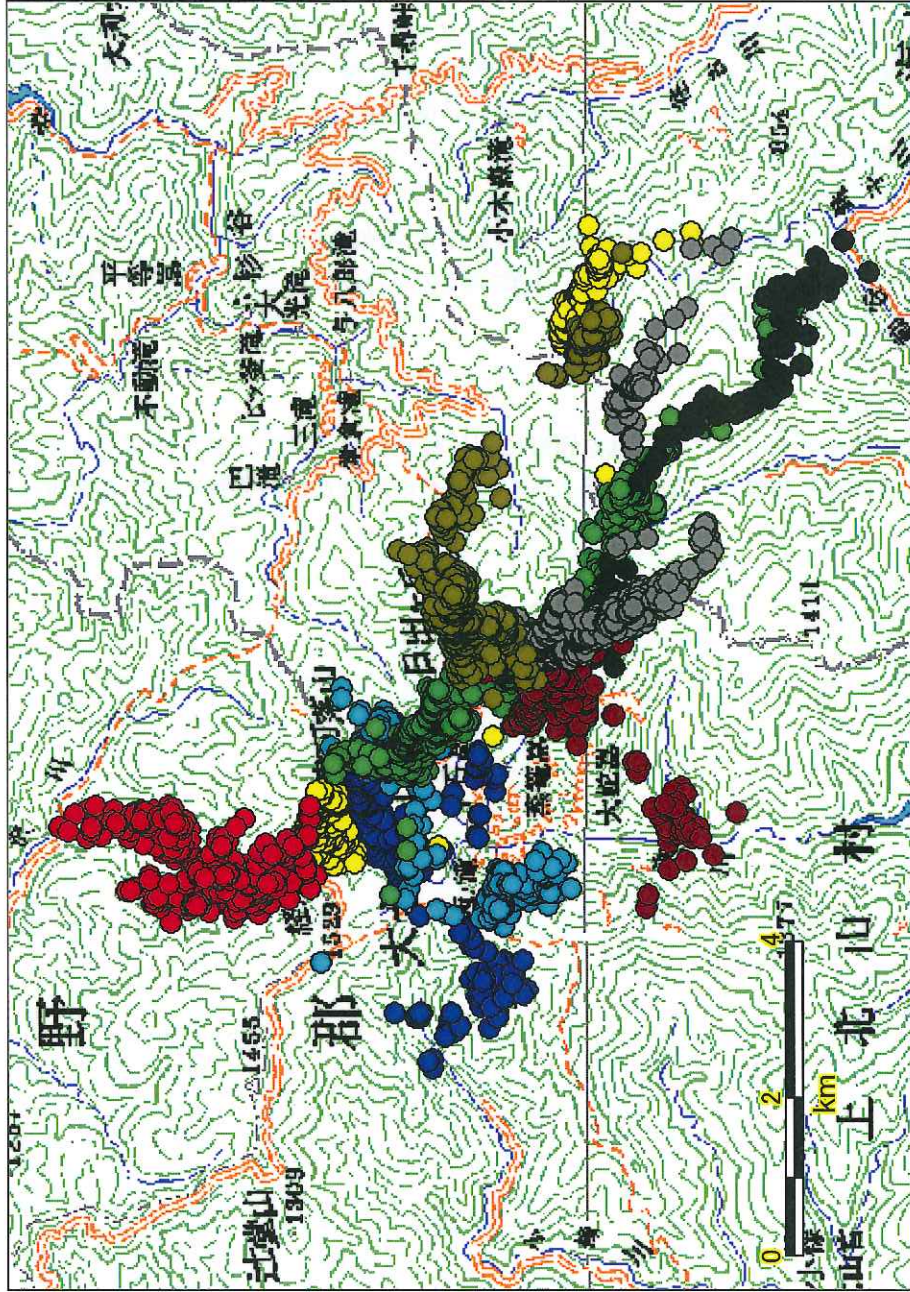


图2 平成17、平成19、平成20年度GPS首輪装着個体の移動状況(精度補正後の測位点を使用)

東大台 ● : ID584、● : ID585、● : ID586、● : ID587、

西大台 ● : ID1569、● : ID1570、● : ID5852、● : ID5862、● : ID1758

1-2 積雪量とシカの移動

平成 19 年度の積雪は平年より遅く、2 月から 3 月にかけて積雪量が増加し、3 月上旬がピークであった。それに対して、平成 20 年度は 1 月上旬から増加し、ピークが 1 月中旬であった（図 3、図 4）。

シカの標高移動は、3 個体は積雪と連動していたが、別の 1 個体は積雪の始まる時期の 2 カ月前に移動を開始していた。その後暫く低標高地に滞在した後、融雪に合わせて高標高地に移動した。さらに別の 1 個体は、基本は標高の低い場所を利用し、夏場のみ高標高地を利用していた（図 5～9）。

積雪の始まる時期の 2 カ月前に移動を開始していた個体が確認されたことは、これまでの調査の中での新たに確認された事実であり、生態学的な知見の蓄積という意味でも移動要因等、今後解明していく必要がある。

1-3. 今後の検討方針

植生等基礎的な情報をとりまとめ、それを題材に個体数調整ワーキンググループ等において、大台ヶ原の自然再生推進に必要な情報、既存データの解析及び評価等について議論をする。

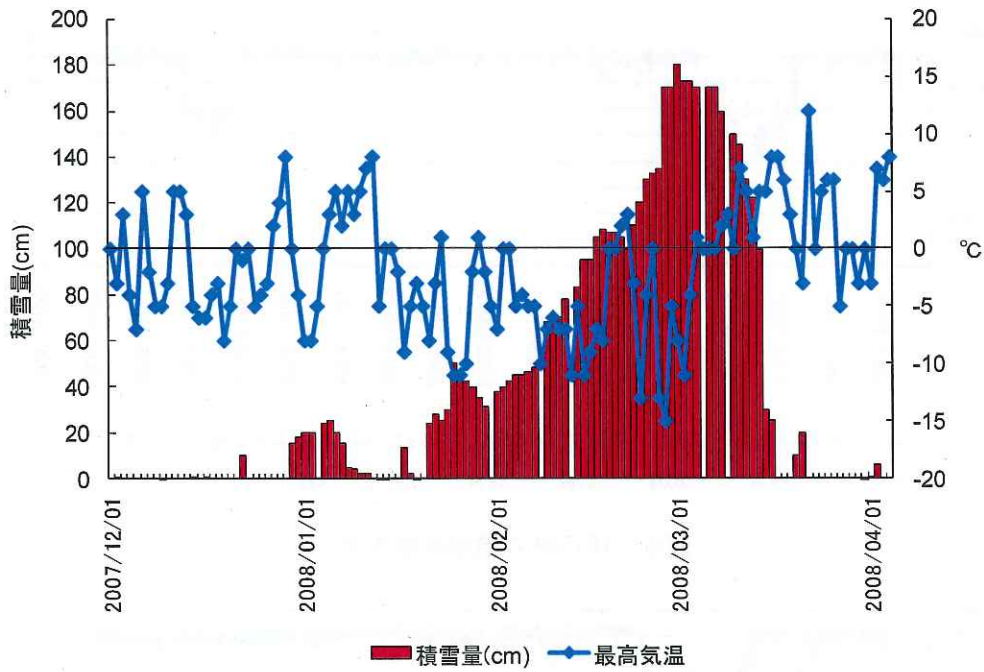


図3 平成19年度冬期における積雪量および温度変化

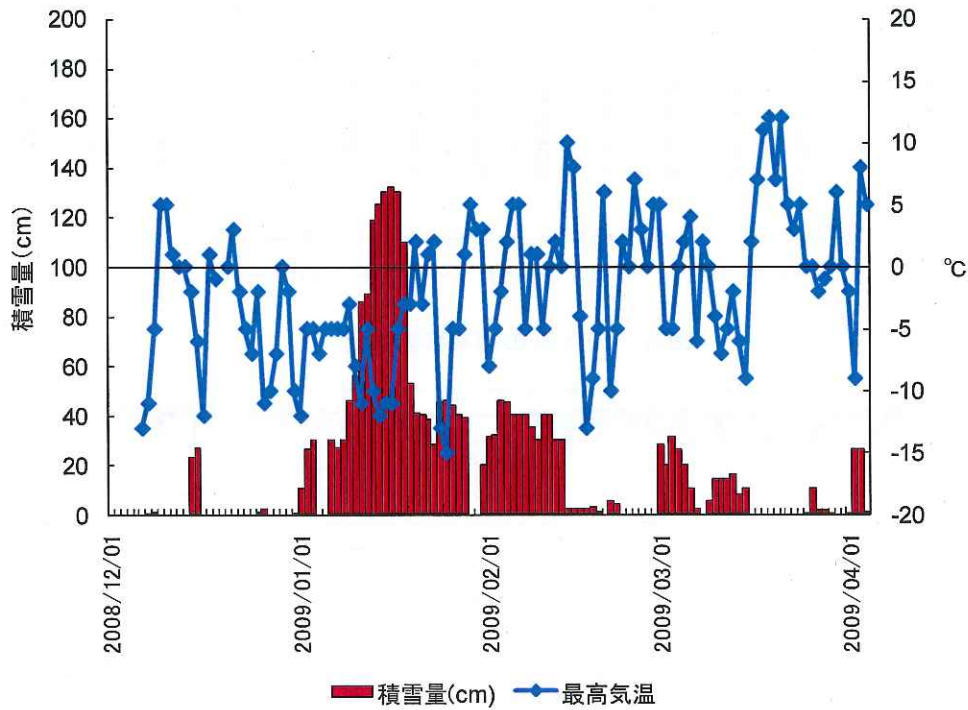


図4 平成20年度冬期における積雪量および温度変化

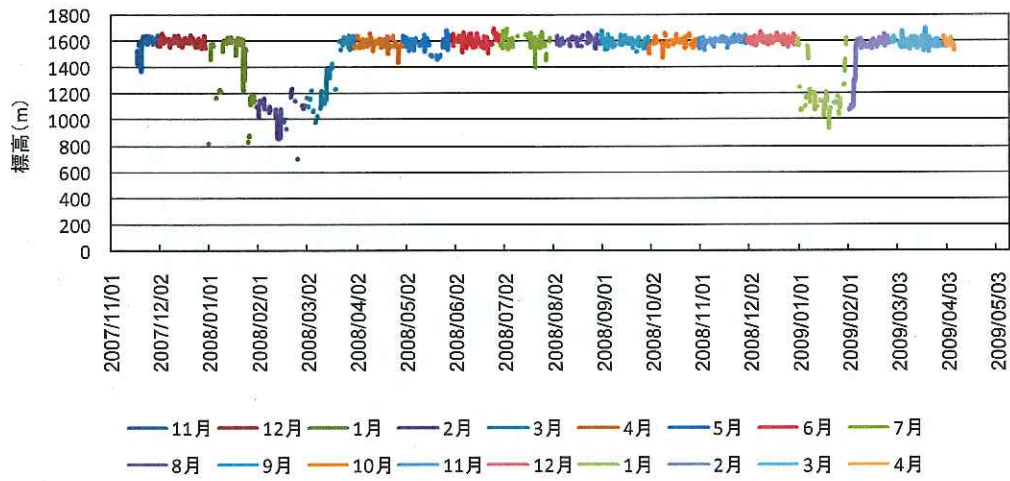


図5 ID1569 の標高移動状況

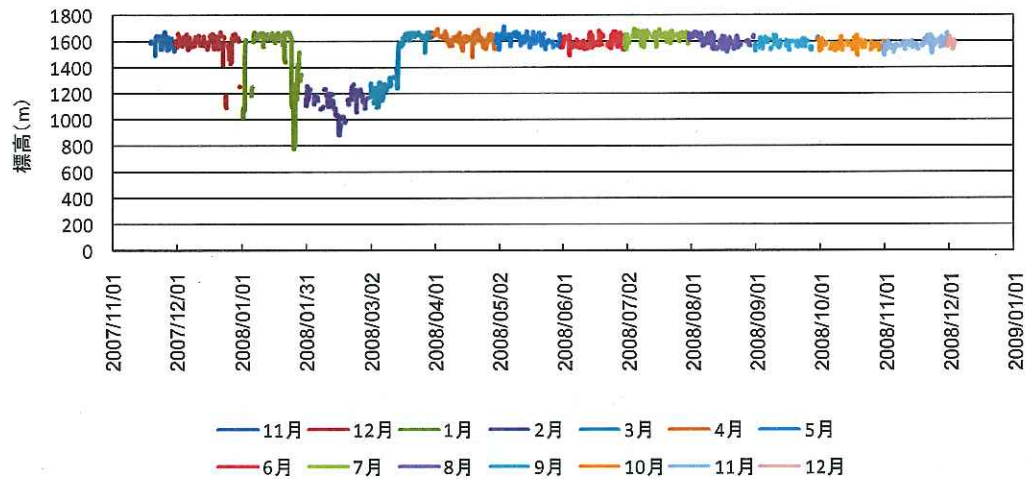


図6 ID1570 の標高移動状況

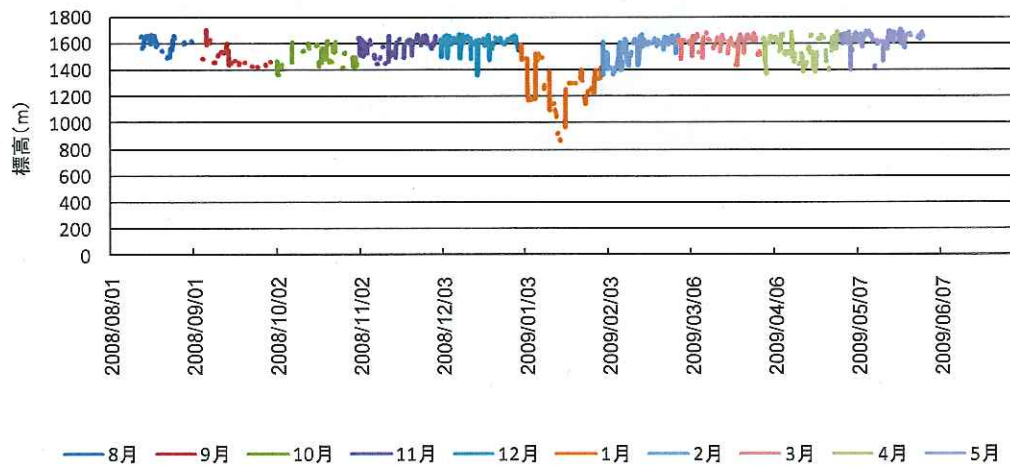


図7 ID5852 の標高移動状況

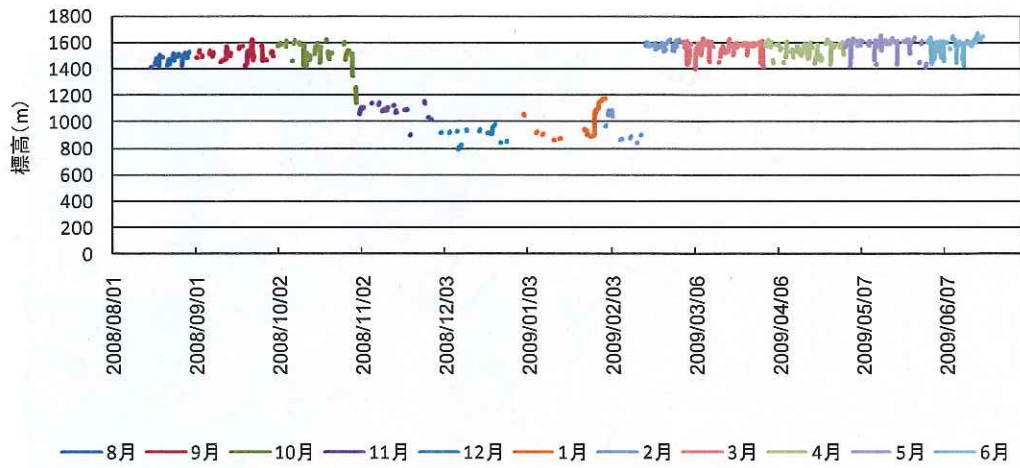


図8 ID5862の標高移動状況

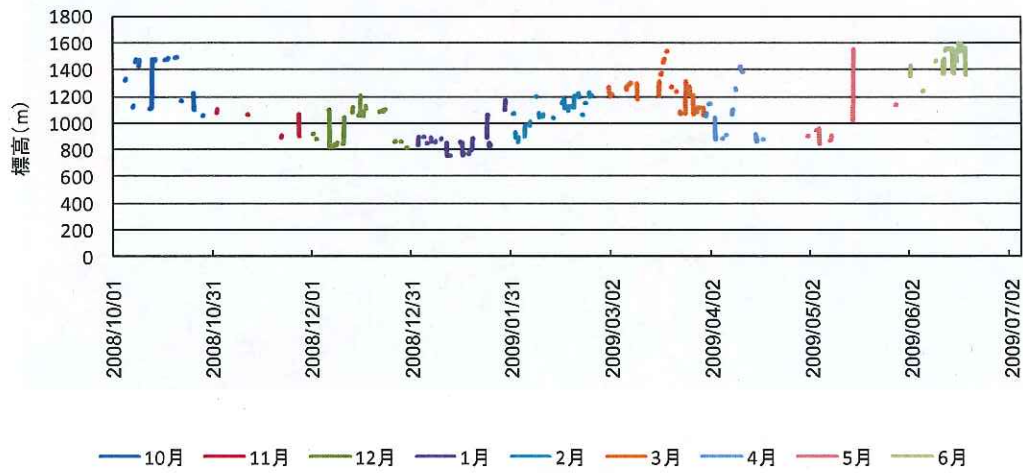


図9 ID1758の標高移動状況

■ 植生基礎解析例 (ID1758)

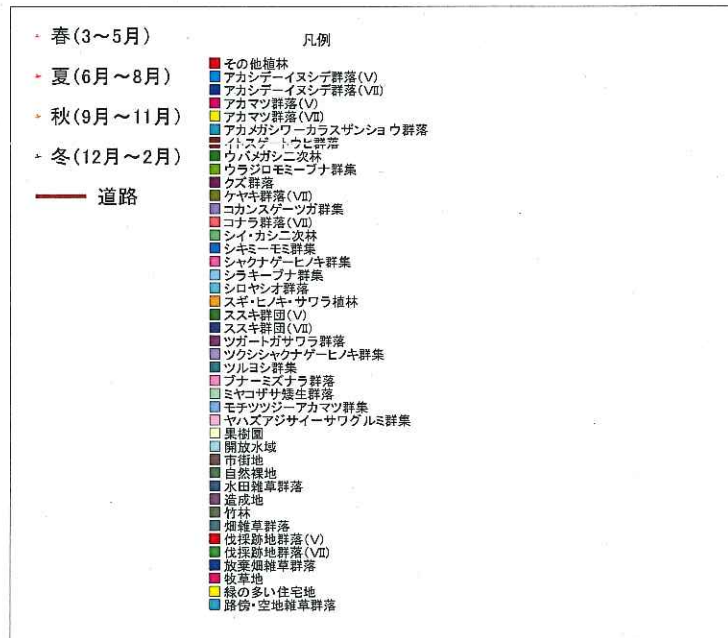


図10 GPS 個体測位位置と植生の配置状況(「・」: 個体測位位置)

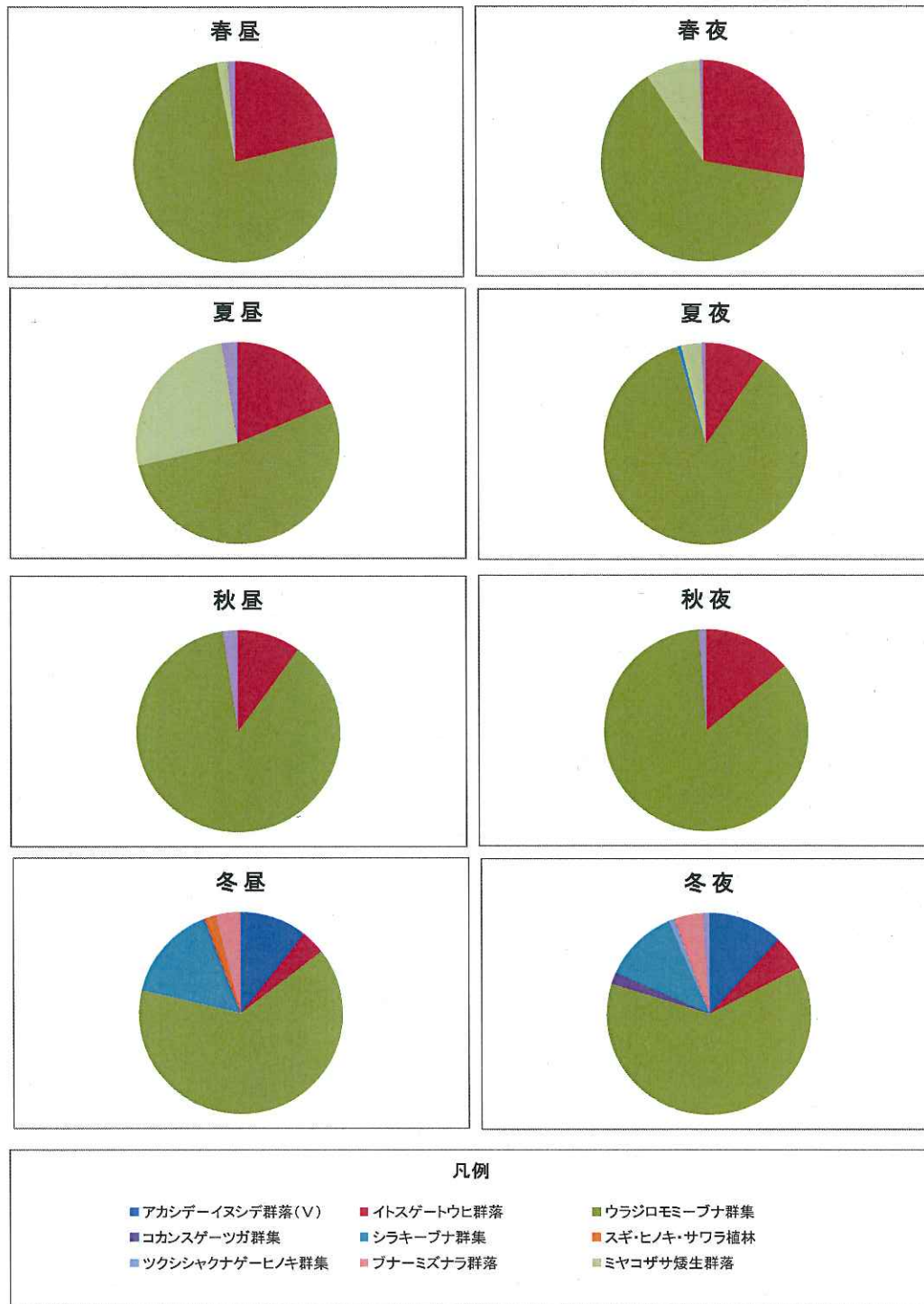


図11 季節別昼夜別植生利用割合

春：3～5月、夏：6～8月、秋：9～11月、冬：12月～2月